

2010年

戦争はごめん 女性のつどい

安保条約改定50年にあたる2010年。沖縄普天間基地問題であらためて沖縄県民・国民の苦しみの根源である「安保」そのものへの疑問や批判が広がっています。

また核兵器廃絶を求める国際世論の大きな高まりのもと、NPT再検討会議は5月28日、核保有国に核兵器廃絶への「いっそうの取り組み」「具体的な進展」を求める最終文書を採択し閉会しました。

核も基地もない日本・世界へ一歴史的な節目となる今年をつどいでは、世界各地を現地取材してきた豊富な体験を持つ伊藤千尋さんに国際的な視点から、お話いただきます。ぜひご参加ください。



「軍事同盟はもういらぬ！今こそ憲法を活かすとき —世界から見た9条」 (仮題)

お話 伊藤千尋さん (ジャーナリスト・朝日新聞記者)

<プロフィール> 伊藤千尋 (いとう・ちひろ) ジャーナリスト (朝日新聞記者)
1949年山口県生まれ。大学時代の71年にキューバで砂糖キビ刈り国際ボランティアに参加。
74年朝日新聞社に入社。外報部などを経て、サンパウロ支局長、バルセロナ支局長を歴任。
2001年にはロサンゼルス支局長として、9・11後のアメリカ社会を精力的に取材。これまで
世界68カ国を現地取材し、そこに生きる人びとの姿を伝えてきた。現在、朝日新聞「be」編集部
所属。主な著書に、講演集『活憲の時代・コスタリカから9条へ』(シネ・フロント社)のほか、
『反米大陸』(集英社新書)、『ゲバラの夢、熱帯中南米』(シネ・フロント社)等多数。

- ・日時 8月12日(木)
6時30分～
- ・会場 全国教育文化会館
7階大会議室
- ・資料代 800円

主催 日本婦人団体連合会 TEL 03(3401)6147 FAX 03(5474)5585